

令和3年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：武蔵野大学

1. 事業の実績

(1) 事業目的

幼稚園教諭二種免許保有者の一種免許状取得機会を拡大し、幼児教育の質の向上に寄与するため。昭和52年より幼稚園教諭免許の課程認定を受けており幼児教育の教育研究の実績を持つとともに、通信教育部においても教育学部を含む2学部3研究科を擁する本学の教育資源を活用することで、幼稚園教諭の専門性を高め、幼児教育の質を向上させる

(2) 事業概要

幼稚園教諭二種免許保有者で12年以上の勤務経験者を対象に、本学教育学部に設置している幼児教育に関する教職課程科目を、本講習の科目に6科目10単位配置する。効率的な単位取得を考慮し、一種免許状上進のために必要な単位数を充足できる科目及び単位設定とした。講習は令和3年6月30日～令和3年12月20日に実施した。

(3) 成果(事業の実績の説明)

1. 幼稚園教諭免許法認定講習全6科目(各科目とも定員は150人)。受講料は1単位あたり5000円。すべてオンラインにて実施した。

- ・保育内容(健康) 領域に関する専門的事項に関する科目として開講(1単位)
- ・特別支援教育 多様化する社会における子どもの理解や援助について学ぶ(2単位)
- ・保育内容総論 保育内容5領域の関連を理解する(1単位)
- ・教育の方法と技術 乳幼児教育の環境とICTについて学ぶ(2単位)
- ・幼児理解と教育相談 幼児理解の基本と援助、それに伴う現代的諸問題について学ぶ(2単位)
- ・生活 生活科教育を通して幼稚園と小学校への接続を学ぶ。(2単位)

2. 上記講座のそれぞれの受講者数(実数)

前年度に申込者が定員を超えた為、今年度の募集にあたっては定員を増やしたが、さらにその想定を上回った申し込み状況であり、いずれの科目も申込が定員を超えた。

- ・保育内容(健康)209人
- ・特別支援教育205人
- ・保育内容総論199人
- ・教育の方法と技術189人
- ・幼児理解と教育相談205人
- ・生活207人

6科目全ての受講申込者は180人(80.7%)でその他は以下の通りである。

5科目受講15人(6.7%) 4科目6人(2.7%) 3科目・2科目それぞれ4人(1.8%)

1科目14人(6.3%)。年代別では40代が103人(46.2%)で半数近くを占めた。

3. 2のうち、単位取得者数

- ・保育内容(健康)202人
- ・特別支援教育198人
- ・保育内容総論193人
- ・教育の方法と技術183人
- ・幼児理解と教育相談199人
- ・生活200人

4. 本事業を活用して幼稚園教諭等一種免許状に上進した教員数

(※上進のための証明書発行依頼者を上進者と見做す) 上進者数 208 名(2月7日現在)

「生活」については、幼児教育の視点を踏まえた授業となるよう留意した。受講者アンケートでは とても満足(41.3%)やや満足(17.8%)丁度良い(33.2%)の合計が科目受講者の 92.3%であったことから、現役幼稚園教諭にとって価値ある内容であったと思われる。

なお、受講者へのアンケートでは以下のようなコメントがあった。全科目オンライン受講できること、また、夏期休暇を挟んだ受講期間が、コロナ禍での学びを続ける一助となりえたと考えられる。

[自由記述 1]受講する際に提出する書類が間に合うか、ハラハラしましたが、無事受講でき、割と有給が取得できる夏休み期間を利用して単位を取ることができ、コロナ禍でお家時間を有意義に過ごせました。

[自由記述2] 全て Web で受講ができる、という点がとてもありがたかったです。長年上進を考えていましたが、このような形態があり、やっと実現できました。

(4)今後の課題・展望

今後も、一種免許状上進のために必要な単位数を効率的に取得できるよう、オンラインを利用する予定である。また、コロナ禍において、現場の多様な実践と実践研究が蓄積されてきたため、その知見を活かしたオンライン課題を設定するなど、さらなる内容充実を目指す。

以上